

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：高松 諭

事業名	一般国道4号 やぶきかがみいし 矢吹鏡石道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：ふくしま にししらかわ やぶきまちきたうら 福島県西白河郡矢吹町北浦 至：ふくしま いわせ かがみいし まちきゆうらいし 福島県岩瀬郡鏡石町久来石				延長	4.8 km
事業概要	<p>一般国道4号は東京都中央区から青森県青森市に至る総延長838.6kmの主要な幹線道路である。 やぶきかがみいし 矢吹鏡石道路は、渋滞解消や交通安全の確保を目的とした延長4.8kmの道路事業である。</p>					
	R3年度事業化	R2年度都市計画決定	用地未着手	工事未着手		
全体事業費	約150億円	事業進捗率 (令和5年3月末時点)	約2%	供用済延長	— km	
計画交通量	29,100台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	1.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 111/115億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 211/211億円	基準年 令和5年	
	(残事業)	1.9	事業費：100/103億円 維持管理費：11/11億円 更新費： / 億円	走行時間短縮便益：191/191億円 走行経費減少便益：16/16億円 交通事故減少便益：4.7/4.7億円		
感度分析の結果	<p>【事業全体】交通量：B/C=1.4~2.0（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.7~2.0（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.7~2.0（事業期間 ±20%）</p> <p>【残事業】B/C=1.5~2.0（交通量 ±10%） B/C=1.7~2.1（事業費 ±10%） B/C=1.7~2.1（事業期間 ±20%）</p>					
事業の効果等	<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該区間の年間渋滞損失時間の削減 (渋滞損失時間：87.0万人・時間/年、渋滞損失削減率：約7割削減) <p>②安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 三次医療施設へのアクセス向上 矢吹町（矢吹中町交差点）→太田西ノ内病院 現況：39分⇒整備後：36分 <p>③災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> 東北縦貫自動車道（矢吹IC～須賀川IC）が通行止めとなった場合の代替路としての機能を強化 他8項目に該当 					
関係する地方公共団体等の意見	<p>○福島県知事の意見</p> <p>国の対応方針（原案）案については、異議ありません。 なお、本県の復興や地方創生を支援するため、事業推進に努めてください。</p> <p>○以下の団体等から、矢吹鏡石道路の整備促進について要望あり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般国道4号4車線整備促進期成同盟会 					
事業評価監視委員会の意見	<ul style="list-style-type: none"> 対応方針（原案）どおり「継続」が妥当である。 					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。 					

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・ 令和3年度新規事業化、用地進捗率0%、事業進捗率約2%（令和5年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・ 令和3年度に事業化され、路線測量、地質調査に着手。令和3年度より道路設計に着手。
- ・ 今後、道路設計完了後に、必要な手続きを経て用地買収に着手予定。
- ・ 全線の開通時期については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定。

施設の構造や工法の変更等

- ・ 新技術の積極的な活用等により、コスト縮減に取り組む。

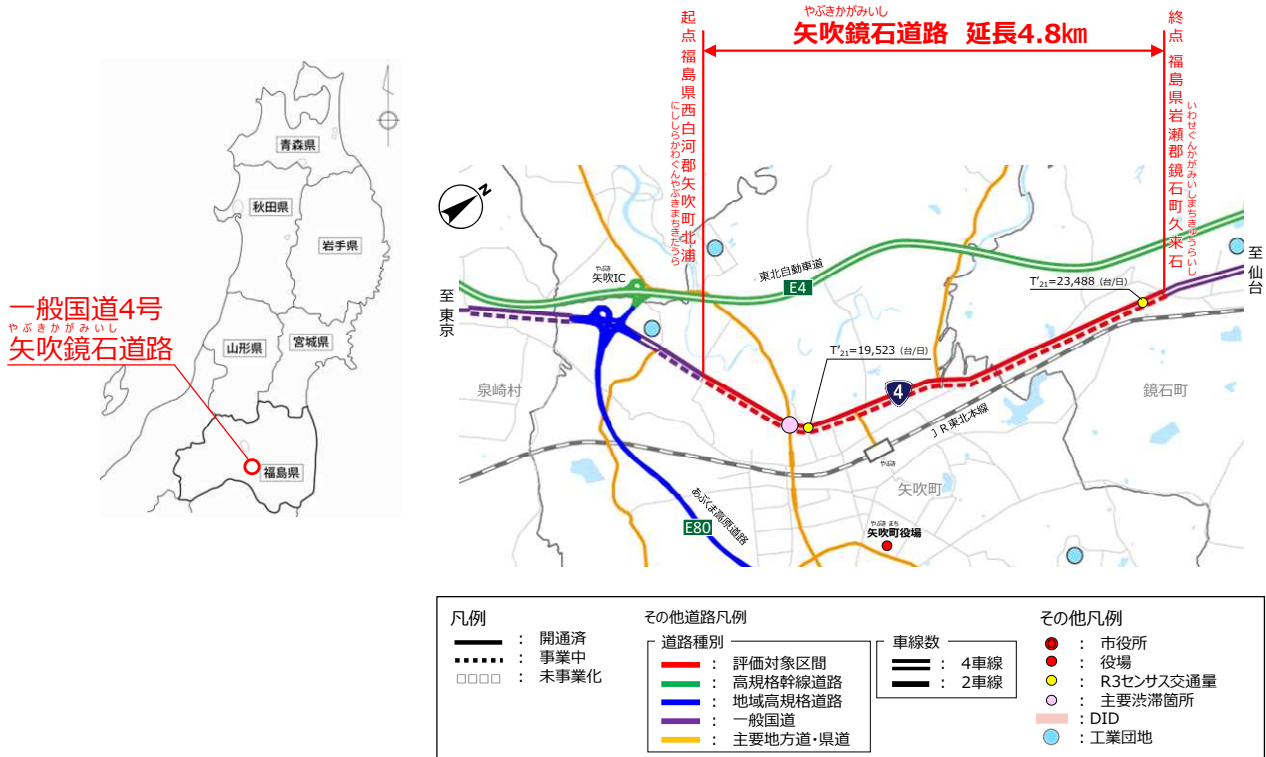
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

交通混雑の緩和、交通安全の確保、物流を支える道路ネットワークの強化等のため、早期整備の必要性が高い。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。